

木々が色づき始め、秋の深まりを感じる季節となりました。工業試験場の周りも鮮やかな秋色に染まり、訪れる方の目を楽しませています。この時期、当场ではさまざまな分野のセミナーを開催しております。ご興味のあるテーマがございましたら、ぜひお気軽にご参加ください。さらに来月には、ビジネスEXPOに道総研ブースを出展いたします。工業試験場も参加いたしますので、ご来場の際はぜひお立ち寄りください。

☆☆☆☆☆ 目次 ☆☆☆☆☆

- 【1】移動工業試験場「工業試験場 in 苫小牧」を開催します【参加無料】
- 【2】「ビジネスEXPO 2025 第39回 北海道技術・ビジネス交流会」に出展します
- 【3】ものづくり関連の各種研修会のお知らせ(4件)【参加無料】
- 【4】北海道中小企業総合支援センターからのお知らせ
「生産性向上セミナー」の開催について

【1】移動工業試験場「工業試験場 in 苫小牧」を開催します【参加無料】

 今年も、移動工業試験場が苫小牧にお伺いします。今回は、ヒトの視点に立ったモノづくり技術、3Dプリンターのユニークな活用策、快適環境をつくる空調システム開発、そして今日的な廃棄物のアップサイクル、の4テーマをご用意しました。さまざまな業種の皆さまにご参考いただける内容となっております。どうぞお気軽にご参加ください。

◆日時: 令和7年11月19日(水) 13:30～15:40

◆場所: 苫小牧市テクノセンター2階会議室(住所: 苫小牧市字柏原32-27)

◆申込締切: 11月14日(金)

◆講演内容:

1. 人を測って作業を楽にする・体調を知るモノづくり

講師: 工業試験場 ヒューマンテクノロジー部 研究主幹 栗野 晃希
 人の姿勢や力、消費エネルギーなどを計測して得られる生体情報を生かした、使いやすい道具や器具の開発手法を紹介します。また、高価な機材を使わずに作業姿勢を簡単に検出するセンサ技術や、低価格のセンサを利用した高齢者の体調や室内行動の見守り技術を紹介します。

2. 馬の症状に合わせた3Dプリント蹄鉄の設計支援

講師: 工業試験場 ヒューマンテクノロジー部 主査 印南 小冬
 競走馬の脚の疾患に対して、特殊な蹄鉄を用いる装蹄治療という手法がありますが、既製品では治療可能なサイズや症状に限られます。本講演では、症状や個体差・成長に合わせた治療を可能にする「3Dプリント蹄鉄」の開発支援事例について紹介します。また、技術普及のハードルになっていた3Dモデルの設計作業を簡略化するプログラムとマニュアルの開発についても支援したので紹介します。

3. 放射冷暖房システムの導入・評価

講師: エネルギー・環境・地質研究所 研究主幹 白土 博康
 放射冷暖房システムはヒートポンプ等の熱源で作成した冷温水を室内空間に設置した放射パネルに循環し、壁面を冷却・加温することで、「涼しさ」、「暖かさ」が得られる空調システムです。本講演では、伝熱の現象、放射冷暖房システムの構成、エアコンとの室内温熱環境の比較、導入事例について説明します。

4. 廃棄物の価値を高めるアップサイクル

講師: エネルギー・環境・地質研究所 専門研究員 稲野 浩行
 工業試験場 ヒューマンテクノロジー部 主査 大久保 京子
 道総研で取り組んだガラスのリサイクル・アップサイクルに関する研究内容と、各種廃棄物、未利用資源のアップサイクル事例を交えて、サーキュラーエコノミーの推進には欠かせない廃棄物の価値を高めるアップサイクルの重要性和開発のポイントについてお話しします。

◆申込フォーム: <https://forms.gle/io7qbVyp9FhitMZ89>

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。

<https://www.hro.or.jp/upload/54996/idoukousi251119.pdf>

【お問い合わせ】

道総研 産業技術環境研究本部 ものづくり支援センター(赤坂)

電話:011-747-2346

E-mail:iri-shien@ml.hro.or.jp

【2】「ビジネスEXPO 2025 第39回 北海道技術・ビジネス交流会」に出展します

道内をはじめとした産学官による製品・技術等の情報を一堂に会して発信する北海道最大級のビジネスイベント「第39回 北海道技術・ビジネス交流会」が開催されます。

当場は「学術・試験研究機関展示ゾーン」の道総研ブースで展示します。

- ・ブロッコリー自動品質検査装置
- ・ダイカスト金型用レーザー熱処理技術
- ・宅内設置センサによる高齢者の見守り (11/7(金)のみ)
- ・デザイン関連支援事例 (11/6(木)のみ)

皆さまのご来場をお待ちしています。

◆日時:令和7年11月6日(木)10:00～17:30、7日(金) 9:30～17:00

◆会場:アクセスサッポロ(札幌市白石区流通センター4丁目)

◆入場料:無料

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。

<https://www.business-expo.jp/>

【3】ものづくり関連の各種研修会のお知らせ(4件)【参加無料】

道総研 産業技術環境研究本部 ものづくり支援センターでは、道内のものづくり企業等を対象に、各種研修会を予定しております。

現在、下記研修会の参加を募集しております。皆さまのお申し込みをお待ちしております。

[1] 3Dデジタル造形研修(第3回)(締切10/30)

◆日時:令和7年11月4日(火)13:15～16:30

◆方法:ハイブリッド開催

◆内容:

製造業におけるDX化・デジタル化に重要な3Dプリンターについて、活用方法や導入事例などの基礎知識を学ぶ研修会を開催します。第3回では、金属・セラミックスAM技術に関する最新事例をご紹介します。会場ではサンプルを展示いたしますので、手に取ってご覧いただけます。今後の製品開発・研究開発に向けた情報収集や新人研修の場としてお気軽にご参加ください。当日は日本機械学会北海道支部の紹介やパネルディスカッション、参加者交流会もごさいます。

◆講師:

(株)リコー 先端技術研究所IDPS 研究センター 第四開発室 室長 佐々木 隆文 氏
北海道科学大学 寒地先端材料研究所 所長 工学部 機械工学科 教授 松田 寿 氏

(株)日本製鋼所 マテリアル技術研究所 金属粉末技術Gr

兼)新事業推進本部 金属材料事業推進室 萩沢 武仁 氏

◆申込フォーム:<https://forms.gle/TPPFrtm5aaddRQAK7>

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。

<https://www.hro.or.jp/upload/54936/253d1104.pdf>

[2] スモールスタートなロボット活用セミナー(第1回)(締切11/20)

◆日時:令和7年11月27日(木)13:30～16:30

◆場所:工業試験場(札幌市北区北19条西11丁目)

◆内容:

工業試験場では、ロボットによる省人化を促進するため、ロボット活用に役立つ知識を学ぶセミナーを実施しています。今年度は「スモールスタートなロボット活用セミナー」と題し、価格やスペース、規模を抑えて「小さく」ロボット活用を始めるためのセミナーを2回に分けて開催します。第1回では、教育・研究用途として広まり、産業分野での活用も進む小型ロボットの操作実習を行います。小型ロボットの活用事例のほか、DOBOT Magician E6という小型ロボットで実際に操作し、使用感や性能を体験していただきます。自社で扱っているワーク(※ロボットで扱う対象物)をお持ちいただき、ロボットで扱えるかをテストすることも可能です。また、第2回(12月開催)では、卓上小型ロボットや、安価でコンパクトなスカルロボットの活用方法について、座学形式で学ぶ研修を予定しております。

- ◆講師:(株)アフレル
Robotics事業部ロボティクス・パッケージ・ソリューション部
テクニカルコンサルタント 春木 賢仁 氏
◆申し込みフォーム:<https://forms.gle/WieBzi5K3HAXJVcg6>

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。
<https://www.hro.or.jp/upload/54953/R7robot1.pdf>

[3] 生産管理セミナー(初級編)(締切10/24)(再掲)

【※両日参加できる方が対象となります】

◆日時:令和7年10月30日(木)13:30~16:30

令和7年10月31日(金)13:30~16:30

◆場所:工業試験場(札幌市北区北19条西11丁目)

◆内容:

生産管理をこれから始める方を対象に、生産管理の基本を講義と演習により実践的に学びます。

◆講師:中小企業診断士 荒木慎吾事務所 代表 荒木 慎吾 氏

◆申込フォーム:<https://forms.gle/n4Xe1smNPpcURP6E7>

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。
<https://www.hro.or.jp/upload/53973/25jinzai.pdf>

[4]生産管理セミナー(中級編)(締切10/31)(再掲)

◆日時:令和7年11月11日(火)13:30~17:00

◆場所:工業試験場(札幌市北区北19条西11丁目)

◆内容:

道総研が開発した、自分達で自社の生産管理レベルを判断できるチェックリストの活用方法を学び、カイゼン活動を実践できる人材を育成する研修会です。

トヨタ生産方式を長年指導してきた生産管理の専門家がその核心を解説します。

◆講師:齋藤コンサルティングオフィス 代表 齋藤 均 氏

道総研 ものづくり支援センター 専門研究主幹 畑沢 賢一

◆申込フォーム:<https://forms.gle/86UCTGTDinSVUSR76>

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。
<https://www.hro.or.jp/upload/54256/25jinzai1111.pdf>

【お問い合わせ先】

道総研 産業技術環境研究本部 ものづくり支援センター(塚本・都築)

電話:011-747-2324 / FAX:011-726-4057

E-mail:kaihatsu@hro.or.jp

【4】北海道中小企業総合支援センターからのお知らせ

「生産性向上セミナー」の開催について

あらゆる業種において人手不足が常態化する中、生産性向上の取り組みで業務の効率化等を図ることにより、少しでも人手不足感を解消することが求められています。

本セミナーでは、生産性向上の実現に向けた改善の着眼点についてご講演いただくと

ともに、生産性向上に向けた取り組みを実践し、成果を上げている事業者の事例を紹介します。

◆日程:2025年11月12日(水) 13:30~16:30

◆会場:ホテル札幌ガーデンパレス2F・丹頂(札幌市中央区北1条西6丁目)

◆参加対象:中小・小規模事業者の経営者及び従業員並びに支援機関等の職員等

◆定員:80名(会場及びオンライン(ZOOM))

◆内容:

・講演

「生産性向上の実現に向けた改善の着眼点」

講師:トヨタ自動車北海道(株)未来戦略企画部経営戦略室

モノづくりサポートGチーフエキスパート 花田 恭之 氏

・事例紹介

1.「製造現場への大型モニター導入による情報共有と生産性の向上」

講師:(株)佐藤製線所 室蘭工場 庶務課係長 山崎 瞳 氏

2.「アコーディオン幌シートシャシ等の導入による鉄の物流現場における生産性向上の取り組み」

講師:丸吉ロジ(株) 代表取締役 吉谷 隆昭 氏

- ・支援制度紹介
 - 1. 独立行政法人中小企業基盤整備機構北海道本部
 - 2. 公益財団法人北海道中小企業総合支援センター
- ・個別相談会
- ◆主催: 北海道

▼詳しい内容・お申し込み

<https://www.hsc.or.jp/news/seminar/>

【問い合わせ先】

公益財団法人 北海道中小企業総合支援センター 経営支援部経営支援G

電話: 011-232-2402

E-mail: keieishien@hsc.or.jp

=====

■□■ このメールマガジンについて ■□■

登録内容の変更や、アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記のメールアドレスにご連絡ください。

変更の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございます。ご了承ください。

▼購読申込・変更・配信停止はこちら

iri-johoteikyo@ml.hro.or.jp

◎皆さまからのご意見、ご質問、ご感想などをお待ちしております

[編集・発行]

(地独)道総研 産業技術環境研究本部

ものづくり支援センター 技術支援部工業技術支援G

E-mail: iri-johoteikyo@ml.hro.or.jp

ホームページ:

<https://www.hro.or.jp/industrial/research/iri/index.html>

=====